

すべてわかった

この作品で、ライアン・ガンダー氏はオーギュスト・ロダンの有名な彫刻に基づく物語を探求しています。私たちが見ているのは、思想家が座っていた石です。彼はその場を去りましたが、彼の存在の証拠は残っています。

岩のくぼみは彼がしばらく深く考え込んでいたことを示しています。ですが、彼の長い熟考の背後にある動機は何だったのでしょうか？彼の思索は満足いく結論に達したのでしょうか？そして、何が彼を立ち上がらせ、立ち去ったのでしょうか？

ストーリーテリングはガンダー氏の作品を貫く共通のテーマであり、この作品で彼は再び私たちの周りの世界に疑問を投げかけています。